

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成25年7月12日
【四半期会計期間】	第29期第3四半期（自平成25年3月1日至平成25年5月31日）
【会社名】	株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
【英訳名】	ADTEC PLASMA TECHNOLOGY CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤井 修逸
【本店の所在の場所】	広島県福山市引野町五丁目6番10号
【電話番号】	(084)945-1359
【事務連絡者氏名】	常務取締役総務・経理部長 中山 浩之
【最寄りの連絡場所】	広島県福山市引野町五丁目6番10号
【電話番号】	(084)945-1359
【事務連絡者氏名】	常務取締役総務・経理部長 中山 浩之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第28期 第3四半期連結 累計期間	第29期 第3四半期連結 累計期間	第28期
会計期間	自平成23年9月1日 至平成24年5月31日	自平成24年9月1日 至平成25年5月31日	自平成23年9月1日 至平成24年8月31日
売上高(千円)	3,409,480	2,768,897	4,511,639
経常利益又は経常損失( ) (千円)	143,133	21,756	82,408
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失( )(千円)	55,694	49,591	3,008
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	109,691	65,125	51,416
純資産額(千円)	2,310,858	2,309,117	2,252,590
総資産額(千円)	4,723,177	4,513,000	4,358,591
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額( )(円)	6,488.15	5,777.18	350.49
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	47.0	48.8	49.7

回次	第28期 第3四半期連結 会計期間	第29期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年3月1日 至平成24年5月31日	自平成25年3月1日 至平成25年5月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ( )(円)	1,861.79	2,517.60

注1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

- 第28期第3四半期連結累計期間及び第28期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 第29期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 売上高には、消費税等は含んでおりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化する欧州の債務危機問題や日中関係の悪化、中国をはじめとする新興国の経済成長鈍化の傾向等により、景気の先行きについては依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループの主たる事業領域である半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、スマートフォンやタブレット端末の需要の拡大は続いているものの、テレビ市場の低迷が長期にわたっていることなどから、新規の設備投資は低調に推移いたしました。

このような事業環境の中、当社等に関しましては、以前から注力してまいりました新規の顧客開拓活動が結果として見え始め、顧客数は増加傾向にあり、また既存顧客より当社電源の改修等の要求が出始めております。しかしながら、半導体デバイスメーカー各社において設備投資の延期や減少などがあり、売上高は低調に推移いたしました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、医療機関向けのがん治療装置用電源の出荷の増加、またサービス及びメンテナンスの売上増加などにより、売上高は堅調に推移いたしました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,768,897千円（前年同期比18.8%減少）、営業損失は77,228千円（前年同期は営業利益169,072千円）、経常損失は21,756千円（前年同期は経常利益143,133千円）、四半期純損失は49,591千円（前年同期は四半期純利益55,694千円）となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
	金額(千円)	金額(千円)
売上高	3,409,480	2,768,897
売上総利益	1,073,702	788,683
営業利益又は営業損失( )	169,072	77,228
経常利益又は経常損失( )	143,133	21,756
四半期純利益又は四半期純損失( )	55,694	49,591

セグメントの業績は、次のとおりであります。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、パソコンや液晶テレビの長期にわたる需要低迷を要因として、各関連メーカーで設備投資が抑制されていることから、売上高は1,597,681千円（前年同期比29.3%減少）、営業損失は172,507千円（前年同期は営業利益23,555千円）となりました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、医療機関向けの売上の増加、サービス及びメンテナンス売上の増加等があったことにより、売上高は1,171,216千円（前年同期比1.8%増加）、営業利益は91,999千円（前年同期比36.3%減少）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益又は 営業損失( )
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
半導体・液晶関連事業(当社等)	2,258,500	23,555	1,597,681	172,507
研究機関・大学関連事業( I D X )	1,150,979	144,438	1,171,216	91,999
合計	3,409,480	167,994	2,768,897	80,508

注1. 売上高は、各セグメントの外部顧客に対する売上高を表しております。

2. 営業利益又は営業損失( )は、各セグメントの営業利益又は営業損失( )を表しております。

(注) 文中表記について

(当社等)

当社、Adtec Technology, Inc.、Adtec Europe Limited、Phuc Son Technology Co., Ltd. 及び  
Hana Technology Co., Ltd. を表しております。

( I D X )

株式会社 I D X を表しております。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は4,513,000千円であり、前連結会計年度末と比較して154,409千円増加しております。

これは、現金及び預金の増加(315,452千円)、製品の増加(45,044千円)等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は2,203,882千円であり、前連結会計年度末と比較して97,882千円増加しております。

これは、短期借入金の増加(363,500千円)等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は2,309,117千円であり、前連結会計年度末と比較して56,526千円増加しております。

これは、為替換算調整勘定の増加(85,040千円)等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、236,880千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000
計	28,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年7月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,586	8,586	東京証券取引所 (マザーズ)	当社は単元株制度を採用しておりません。
計	8,586	8,586		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年3月1日～ 平成25年5月31日		8,586		835,598		908,160

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年2月28日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成25年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,584	8,584	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	8,586	-	-
総株主の議決権	-	8,584	-

## 【自己株式等】

平成25年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アドテックプラズマテクノロジー	広島県福山市引野町五丁目6番10号	2		2	0.02
計	-	2		2	0.02

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年9月1日から平成25年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	805,593	1,121,045
受取手形及び売掛金	923,054	700,957
製品	414,980	460,025
仕掛品	664,785	708,907
原材料及び貯蔵品	726,648	690,922
繰延税金資産	11,510	12,883
その他	57,331	52,099
貸倒引当金	1,179	-
流動資産合計	3,602,724	3,746,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,064,235	1,082,205
減価償却累計額	617,069	649,100
建物及び構築物(純額)	447,165	433,105
車両運搬具	19,402	20,441
減価償却累計額	14,195	15,236
車両運搬具(純額)	5,206	5,204
工具、器具及び備品	617,611	659,193
減価償却累計額	492,410	519,181
工具、器具及び備品(純額)	125,200	140,012
土地	65,926	65,926
有形固定資産合計	643,500	644,248
無形固定資産	42,960	39,072
投資その他の資産		
投資有価証券	23,509	31,678
繰延税金資産	1,123	2,822
その他	64,597	68,109
貸倒引当金	19,824	19,772
投資その他の資産合計	69,405	82,838
固定資産合計	755,866	766,159
資産合計	4,358,591	4,513,000



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	144,340	139,136
短期借入金	420,000	783,500
1年内返済予定の長期借入金	512,349	468,592
未払法人税等	20,560	3,824
その他	247,883	185,524
流動負債合計	1,345,133	1,580,577
固定負債		
長期借入金	666,993	527,313
資産除去債務	70,864	71,796
その他	23,009	24,196
固定負債合計	760,867	623,305
負債合計	2,106,000	2,203,882
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	835,598	835,598
資本剰余金	908,160	908,160
利益剰余金	587,562	529,386
自己株式	384	384
株主資本合計	2,330,936	2,272,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,609	2,204
為替換算調整勘定	158,233	73,192
その他の包括利益累計額合計	162,842	70,988
少数株主持分	84,497	107,344
純資産合計	2,252,590	2,309,117
負債純資産合計	4,358,591	4,513,000

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
売上高	3,409,480	2,768,897
売上原価	2,335,777	1,980,214
売上総利益	1,073,702	788,683
販売費及び一般管理費	904,629	865,911
営業利益又は営業損失( )	169,072	77,228
営業外収益		
受取利息	858	834
受取配当金	145	157
為替差益	-	42,038
デリバティブ評価益	213	21
受取手数料	8,059	23,315
受取家賃	4,800	7,125
補助金収入	1,128	745
貸倒引当金戻入額	3,176	1,231
その他	3,916	4,047
営業外収益合計	22,297	79,517
営業外費用		
支払利息	23,075	16,771
たな卸資産廃棄損	2,939	4,162
為替差損	17,605	-
その他	4,616	3,111
営業外費用合計	48,236	24,045
経常利益又は経常損失( )	143,133	21,756
特別利益		
固定資産売却益	246	156
特別利益合計	246	156
特別損失		
固定資産売却損	-	48
固定資産除却損	1,443	838
投資有価証券評価損	8,218	-
投資有価証券売却損	630	-
特別損失合計	10,292	887
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	133,087	22,486
法人税、住民税及び事業税	20,337	11,355
過年度法人税等戻入額	-	6,106
法人税等調整額	16,882	1,006
法人税等合計	37,219	4,242
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	95,868	26,729
少数株主利益	40,174	22,861
四半期純利益又は四半期純損失( )	55,694	49,591

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	95,868	26,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,443	6,813
為替換算調整勘定	11,380	85,040
その他の包括利益合計	13,823	91,854
四半期包括利益	109,691	65,125
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,517	42,263
少数株主に係る四半期包括利益	40,174	22,861

## 【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
減価償却費	64,081千円	63,319千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年5月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月25日 定時株主総会	普通株式	8,584	1,000	平成23年8月31日	平成23年11月28日	利益剰余金
平成24年4月13日 取締役会	普通株式	8,584	1,000	平成24年2月29日	平成24年4月23日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年5月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月28日 定時株主総会	普通株式	8,584	1,000	平成24年8月31日	平成24年11月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	2,258,500	1,150,979	3,409,480	-	3,409,480
セグメント間の内部 売上高又は振替高	66,508	7,785	74,294	74,294	-
計	2,325,009	1,158,765	3,483,774	74,294	3,409,480
セグメント利益	23,555	144,438	167,994	1,078	169,072

(注) 1. セグメント利益の調整額1,078千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	1,597,681	1,171,216	2,768,897	-	2,768,897
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,656	8,361	31,017	31,017	-
計	1,620,337	1,179,577	2,799,915	31,017	2,768,897
セグメント利益又は損 失( )	172,507	91,999	80,508	3,279	77,228

(注) 1. セグメント利益又は損失( )の調整額3,279千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失( )と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )	6,488円15銭	5,777円18銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	55,694	49,591
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	55,694	49,591
普通株式の期中平均株式数(株)	8,584	8,584

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年7月12日

株式会社アドテックプラズマテクノロジー  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 西元 浩文 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 家元 清文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アドテックプラズマテクノロジーの平成24年9月1日から平成25年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年9月1日から平成25年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アドテックプラズマテクノロジー及び連結子会社の平成25年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。